

**2010年度 ポストドクトラルフェロー募集要項**

2010年度グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(以下、「本拠点」という。)にて任用するポストドクトラルフェロー(以下、「DH ポスドク」という。)について、以下のとおり募集する。

**1. 職務**

本拠点が遂行する研究活動、研究補助、ほか拠点リーダーが指示する業務を行う。

**2. 採用予定数**

若干名

**3. 申請資格**

(1) 博士学位を有する者。

(2010年3月末までに博士学位の申請を行い、2010年度内に学位取得予定の者を含む。)

(2) 2010年4月1日現在、博士の学位取得後7年未満の者。

(3) 本拠点の事業推進担当者を業務指揮者とする者。

**4. 所属**

衣笠総合研究機構に所属する。

**5. 採用期間**

2010年4月1日～2011年3月31日

※ビザの取得が必要な場合、雇用開始日が遅れることがある。

(年度単位の契約とし、審査の上、プログラム終了まで契約更新を可能とする。ただし、3年を継続の上限とする。)

**6. 給与条件等**

(1) 週5日勤務で21～33万円(税込)。審査の上、勤務状況・業績等に応じて決定する。なお、初年度は、月額30万円(税込)を上限とする。

(2) 扶養手当、住宅手当は支給しない。

(3) 私学共済保険、雇用保険に加入する。

(4) その他、勤務条件は任用契約で定める。

(5) 日本文化 DH 若手研究者助成金(審査有)を支給することがある。

(2009年度実績：年間100,000円(上限))

(6) 日本文化 DH 若手研究者海外研究活動助成金(審査有)による海外派遣を実施することがある。

(7) 若手研究者国際・トレーニング・プログラム(ITP)に応募することができる。

**7. 審査方法等**

(1) 次にあげる審査基準に基づき、拠点リーダーを委員長とする審査委員会で審査する。

<審査基準>

①学術の将来を担う優れた国際的な研究者となることが十分期待できること。

- ②研究業績が優れており、研究計画を遂行できる能力及び当該研究の準備状況が示されていること。
  - ③研究計画が具体的であり、優れていること。
  - ④受入教員の研究活動が活発に展開されており、研究業績が優れていること。また、受入環境を準備できること。
- (2) 審査委員会の審査を踏まえ、衣笠総合研究機構の運営委員会において、任用を承認する。
  - (3) 選考結果に基づく採用の可否については、文書で通知する。
  - (4) 申請書類等の提出物は審査のためのみに利用する。なお、提出物の返却はしない。
  - (5) 申請書類等より取得した個人情報、審査の利用目的以外には利用しない。
  - (6) 応募にあたっては、受入教員に事前に相談のこと。

## 8. 申請手続等

### (1) 申請書類

- ・任用申請書 (PD 任用様式①)
- ・履歴書 (PD 任用様式②)
- ・研究計画書 (PD 任用様式③)

### (2) 申請期間

2010年1月6日(水)～15日(金) 17:00まで(時間厳守)

### (3) 提出先

立命館大学 研究部 人文社会リサーチオフィス (修学館 2F) 担当: 倉田  
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
TEL: 075-465-8476 (9:00～17:30)、内線: 511-2825  
FAX: 075-465-8342、内線: 511-2829  
E-mail: kura-a@st.ritsumeai.ac.jp

### (4) 選考結果の通知

選考の結果の通知は、2010年2月中旬(予定)に通知する。

以上